

## New VPC-Ultimate アーリーエボ取り付け説明書

1984年後期から1989年までのエボリューションモデル ダイアフラムスプリング4本スタッドクラッチ用

\*ノーマルダービーカバー及びダービーカバーの裏が5mm以上へこみがあるダービーカバーではスペーサーは必要ありません。

\*本説明書は2輪整備士免許をお持ちの普段からハーレーダビッドソンの整備に従事しているプロのメカニック用です。プロショップでの取り付けを推奨致します。なお2輪整備士免許をお持ちでない個人様が取り付けの場合、一切の保障を致しかねます。

\*クラッチ板の点検をして下さい。クラッチ板（フリクションとスチール全ての厚み）が23mmより小さい場合はクラッチ板を交換してください。また経年劣化している（長い年月放置していた等）場合もクラッチ板の交換をお勧めします。

1:バッテリーのマイナスケーブルを取り外しスターターモーターが回らないようにする。これを怠ると重大な人身事故につながる恐れがあります。

2:ジャッキ等でバイクを直立にし、プライマリーオイルを抜く。プライマリーカバーを取り外す。（サービスマニュアルを参照）

3:4本のリテーナーボルトを少しづつ均等に緩めてリテーナー、ダイアフラムスプリング、プレッシャープレートを取り外す。クラッチ板を点検する。

ノーマルリテーナー、ノーマルスプリング、ノーマルプレッシャープレートは再使用しません。リテーナーボルトは再使用します。

ノーマルリテーナー、ノーマルプレッシャープレート、ノーマルスプリング



4: ノーマルプレッシャープレートからスナップリングプライヤーを使用してアジャスターボルトプレートを取り外し、VPPに取り付ける。スナップリングの弾力が落ちて  
いる場合は新品に交換する。マイナスドライバー等でしっかり溝に入れる。



スナップリングがしっかり溝に入っていない場合クラッチが完全に切れなくなりますので注意してください。またアジャスタープレートは5mmほど奥に設置されるようになっていますので予めロックナットを緩めアジャスタースクリューを緩めておきます。

5: アルミプレートにはクラッチハブとしっかり連結するプレートが装着されています。クラッチハブにかみ合うところがあるので1度クラッチシェルに付けてみてクラッチハブとかみ合う場所をスタッドとアルミプレートの穴部分にマーキングしておく  
と便利です。



6 : V P P内部のおもりは片側だけ斜面になっています。斜面が黒いプレートに面するよう設置します。(発送時に設置していますが念のためチェックしてください。斜面は外側の黒いプレートと向き合わせになります。) 黒いプレートを外すとおもりに V P P THIS SIDE FACING BLACK PLATE と刻印されていますので、全てのおもりに刻印が見えればOKです。



おもりを逆にすると遠心力が無くなりますので6枚共に確認してください。  
アルミのプレートにはアルミを保護する鉄のベースリングが埋め込まれています。

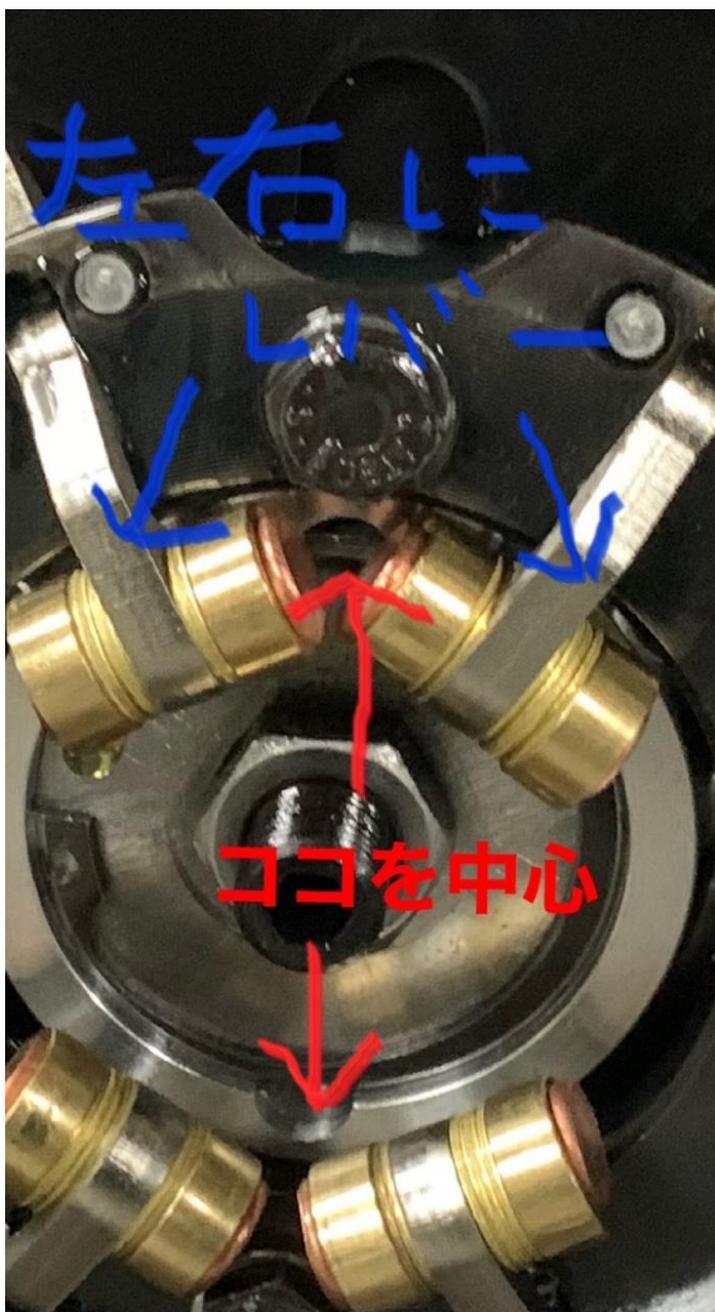


このリングが無くても遠心力が無くなるためベースリングがあるか確認してください。

7 : ベースリング、オモリの向きを確認したら黒いプレートを元に戻します。しっかり被せたら、V P P内部のおもりがずれないように押さえながらクラッチシェルに装着します。クラッチハブとプレッシャープレートがかみ合い奥まできっちり入っている事を確かめてダイヤフラムをセットします。もう一人誰かに押さえてもらおうと作業しやすいです。

8 : V P Cをノーマルのボルトとワッシャーを再使用し取り付ける。

その際アジャスタープレート部分の切りかき溝を中心にして左右にオモリレバーがあるように取り付ける。



7/16"のソケットレンチを使用してある程度ボルトを均等に締める。締め始める前に開いているオモリレバー(下になっている2つのレバー)を手で保持する。



ダイヤフラムが圧縮され始める前にダイヤフラムがずれていない事を確かめる。

正しい



誤 ダイヤフラムがずれている



ダイアフラムがずれていない事確かめながらボルトを均等に締め込んでゆく。最終トルクは **10.2~12.4Nm** で4本すべてのボルトを締める。

9:クラッチケーブルのアジャスターをいっぱい緩めてクラッチレバーの遊びを最大にし、プレッシャープレートのアジャスターボルトを調整する。アジャスターのロックナットを十分緩め、アジャスターボルトが軽く底付きした所から 1/2~1 回転戻す。アジャスターボルトが動かないようにしてロックナットを締める。(サービスマニュアル参照)

クラッチケーブルのアジャスターを伸ばしてゆきクラッチレバーの遊びが 2mm 以上になるよう調整する。クラッチの切れが良くなっているため遊びは多い方が良いです。(お好みのクラッチミートポイントに調整していただいて結構ですが、**張り過ぎは禁物**です。)

10:古いプライマリーカバーガasketを使用しプライマリーカバーを数本のボルトで仮止めし、クラッチレバーを握り違和感なく握れる事を確認してから、新しいプライマリーカバーガasketを使用しプライマリーカバーを取り付ける。

11:ドレインボルトを締め、ダービーカバーからプライマリーオイルを適量注入する。

12:ダービーカバー及び取り外した部品を取り付ける。

13:バッテリーマイナス端子を取り付ける。

14:エンジンを始動し異音が無いか確かめる。

15:クラッチレバーを握りフロントブレーキをかけながら1速に入れる。クラッチがしっかり切れている事を確かめてから試乗する。

以上で取り付けは終了です。

New VPC-Ultimate アーリーエボの軽さ、感触の良さ、切れの良さ、また伝達ロス少なさで更に楽しいハーレーライフを送っていただけよう願っています。ありがとうございました。

#### キット内容

VPP (バリアブルプレッシャープレート) x 1、VPC (バリアブルプレッシャクラッチ) X 1、ダイアフラムスプリング x 1

#### 製造発売元

有限会社T. P. P. (Tak's Performance Parts )

791-2113

愛媛県伊予郡砥部町拾町3-1

電話:090-6888-8827 Fax:089-969-6670

E m a i l : takeshi-shigematsu@bluepanther.jp